

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス・ 居宅訪問型児童発達支援事業所みらくる				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		3 月		1 日		(別添資料1)	
法人（事業所）理念		1. 支援を必要としている人、支援制度を知らない人、支援を受けられなくなった人、などへ人としての暖かな関りを通して、適切な社会とのつながりを創る。 2. 支援者のための支援。前項の支援を行う意思のある人への支援を行う。															
事業所支援方針		子どもの権利を尊重します。人（ともだち、おとな）との、適切な関わり合いや勉強の進め方を日々の活動のなかで身に付けていきます。 スタッフ一同、皆さんの可能性を信じています。															
営業時間		10 時		00 分から		18 時		00 分まで		送迎実施の有無		あり		なし			
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握（自分の体調を言えるような促し、身だしなみ・朝・昼食事摂取状況・精神状態・体調確認、排泄援助） ・危機認知スキルの向上（災害時等疑似体験・BBQ体験・防災マップウォーキング） ・健康・生活スキルの向上（ご飯・おやつ作り・食関連講習会受講、買い物体験、清掃体験）															
	運動・感覚	・ピアノ・ドラム・音楽に合わせたダンス、ホール・体育館等を使って身体を動かす。季節を問わず散歩、施設室内でのストレッチ、バランス平均台、ジャンピング、かくれんぼ ・野球（屋内外）や体育館等利用での各種鬼ごっこ、ボール運動、バトミントン、ランニング等 ・春夏秋冬は公園での各種鬼ごっこ、遊具遊び、野球場での野球、登山、キャンプ、自然観察、山村ダム・ウォーキング ・デジタルリハビリテーション機器を使用した、四肢のトレーニング															
	認知・行動	・知育玩具・紙粘土・コラージュ等の工作、ラジコン、タブレット・プログラミング・パソコン・等の自己選択。視覚・聴覚・触覚を活用し認知能力の発達、自己肯定感向上の促し ・スケジュールの視覚化を通して時間、数、空間の概念の認知発達の促し ・小集団の活動や遊びの中でこだわりや過集中からの転換・適切な行動を習得 ・読み・書き・計算等の学習支援。ビジョントレーニング。 ・各種検査の実施															
	言語 コミュニケーション	・子どもたちの気持ちりが自由に表現できる支援 ・挨拶や場面に合った言葉遣い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・遊びを通した、コミュニケーション手段の活用（集団遊び、外出イベント等）															
	人間関係 社会性	・小集団・集団での遊びやゲームを通して人とのかかわり方や接し方の学び ・社会体験（鉄道の旅・施設見学・地域交流の場に参加する。） ・自己理解、他者理解への支援（SST・社会体験）															
家族支援		・定期面談や適時の保護者面談を通しご家族様の環境、お子様の発達状況や不安などや支援のニーズを確認 ・お子様との関り、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う ・検査結果の相談						移行支援		・園や学校での生活がスムーズになるよう連携先・ご家族様とで相談援助を行っている。							
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ・学校や併用利用先との情報共有 ・講演会等広報活動						職員の質の向上		・強度行動援護者演習等の講習会等専門分野の講習参加 ・加入連合会、行政、各団体が開催する研修への積極的参加 ・職員会議を通してスタッフ個々の成長							
主な行事等		・季節の行事（JR乗車体験、遠軽キャンプ、雨宮21号機関車体験、旭岳散策、各種博物館体験、カムイゴンドライド体験）															